



事業タイトル	雇用創出に向けた地場産業の魅力向上・人材確保強化プロジェクト				
人口(※1)	155,384人	人口減少率(※2)	6.15%	高齢化率(※1)	36.44%

※1：R6.1.1時点

※2：（H31.1.1の人口－R6.1.1の人口）／H31.1.1の人口。なお、全国平均は2.01%

地域の現状・課題	事業の全体像
・国勢調査の結果からも本地域の人口は減少傾向であり、特に20代・30代の減少率の高さが際立っている。 ・コロナ禍の地元志向からアフターコロナとなり若年層の都市部志向が戻ってきている現状があり、地元企業への人材確保に苦慮している。 ・各市町において、若者の市外流出抑制やUIターン推進など、独自に取り組んでいるところであり、地元企業の人材不足対策につなげるよう努めている。 ・本協議会を組織する市町において、大規模工場から小規模ながら優れた技術を持つ工場があり、食品製造業、機械器具製造業、建設業など、大小多くの企業が立地している。 ・不足している年代として、20代・30代と回答する事業者が多く、特に、製造業（食品・機械器具）、建設業に加え福祉分野など年齢、性別を問わず人材の確保が厳しいところである。 ・企業としても自ら魅力を発信できるように取り組む必要があり、市町と連携して取り組む必要がある。	阿久根市、薩摩川内市、さつま町の3市町で薩摩國雇用創造協議会を組織し雇用創出に向けて取組んできた。隣接する、いちき串木野市も同様の課題を抱えていることから、新たに本組織に加わることで鹿児島県川西薩摩地域の4市町として、広域の魅力と連携で雇用の創出と関係人口の拡大を目指す。 ・製造業（食品・機械器具）、建設業、福祉分野等の人材確保に苦慮している産業の魅力向上対策を行い、事業内容や仕事内容等を知ってもらう機会の創出。 ・多様な働き方が求められる中、女性、高齢者、外国人、子育て世代等の採用力の向上やDX推進に取り組む企業の支援を行う。 ・創業支援等を活用し創業した事業者等を対象に、更なる雇用の創出に向けて第二創業をテーマとした支援を行う。 ・求職者向けのスキル向上を目的に、AIやPC等のICTスキル習得やDXスキル向上の事業に取り組む。 ・さらに、地元企業や求職者のマッチングの場を創出し、各業種に対して人材の確保につなげるように取組む。

